

開催日時:平成13年10月20日 11:00~12:45

開催場所:大阪大学大学院人間科学研究科

出席者:桑野園子,阿部純一,岩宮眞一郎,大串健吾,井口征士,小川容子,芋阪満里子,加藤 徹,菅 千素,中島祥好,中山一郎,難波精一郎,仁平義明,平賀讓,福井 一,村尾忠廣,山田真司,吉富功修,太田公子(幹事)

議事

1. 会員数報告:加藤理事より10月20日現在の会員数が321名(内訳:名誉会員1名,会友2名,顧問1名,正会員285名,学生会員32名)であり,会員数の増加傾向は続いていることが報告された。退会者氏名と6月以降の新入会員氏名も紹介された。
2. 会計報告:太田幹事より平成13年度予算の執行状況が報告された。議事4の「音楽知覚認知研究」vol.7.No.2発行には計画を越える費用が予想されるところから,不急費目での予算節減が必要であり,とりあえず研究会開催予算を5万円程度に圧縮することが認められた。
会費滞納会員につき,理事内で個人的に連絡のつく方に精算を要求することが依頼された。また,3年以上の会費滞納者には除籍されることを通告し,退会の場合には精算を求めていくことが確認された。
3. 研究発表会開催予定:岩宮理事より2002年の春季研究発表会は図書館情報大学に担当を依頼していることが報告され,同大学の平賀理事より担当の承諾がなされた。開催予定日程は,2002年5月18,19日に決定され,情報処理学会音楽部会との共催の方針も確認された。
4. 学会誌発行:阿部理事より「音楽知覚認知研究」Vol.7.No.1,2の発行準備状況が報告された。Vol.7.No.1は原著論文2篇で11月に発行予定である。No.2は特集号となり,中島理事のお世話により最大で10篇の原著論文が予定される。
5. 選奨規程:仁平理事から選奨規程案が説明され審議された。規程案の細部は更に検討の余地があるが,「日本音楽知覚認知学会研究選奨」「日本音楽知覚認知学会論文賞」「日本音楽知覚認知学会特別賞」の3賞を設け,実施できる最も近い機会から適用していく方針が了承された。
6. 学会ホームページ:平賀理事より11月には立ち上げる予定であることが報告された。大串理事より音楽知覚認知国際会議(ICMPC)のホームページとのリンクが求められた。
7. 名簿管理:管理事より管理状況について報告があった。
8. 「音楽知覚認知研究」掲載の原著論文の翻訳の外国雑誌投稿の取扱について:日本の研究を海外へアピールするという面と,「音楽知覚認知研究」の研究雑誌としての意義や自立性を落とすことはできないという2面を中心に検討がなされた。法律面からの調査など更に検討が必要であり,検討を続けていくこととなった。
9. その他
 - ①研究発表資格について:従来通り,「発表者のうち1名が会員であること」とするが,非会員の口頭発表者にはなるべく入会を勧誘していく方針が了承された。
 - ②名誉会員推薦の内規案:事務局が作成した内規案が了承された。
 - ③在庫資料の価格について:1989年の第1回音楽知覚認知国際会議(京都)の発表講演論文集(日本語版)を価格表から除き,希望者に無料配布することが了承された。